

# 周防大島町 海ごみゼロ宣言

海ごみの最たるものはプラスチックです。安価で使いやすく、私たちの生活に欠かせないものである一方、不用意に捨てられてしまうと、河川などを通じて海へ流れ込み、海洋環境を永きにわたり悪化させます。またプラスチックは、細分化され、マイクロプラスチックとなり、生態系への影響も懸念されています。

海ごみは、日本だけでなく世界規模の喫緊の課題であり、私たち一人ひとりが、この課題を「自分のこと」として捉え、行動する時です。

私たちの住む周防大島は、瀬戸内海に四方を囲まれ、日本最大級のニホンアワサンゴ群生地を持つ貴重な地域です。

周防大島の美しい海を、豊かな自然を、次の世代に残すため、海ごみの実態の正しい理解を深めるとともに、3R (Reduce、Reuse、Recycle) のさらなる推進・徹底など身近なことから、海ごみゼロにおけ、自ら不断の取り組みを行うことをここに宣言します。

令和4年(2022年)10月23日

周防大島町長 藤本 浄孝

